

武庫川女子大学大学院看護学研究科

経験知から理論知へ、そして、さらなる理論知の創生へ

共に考える

看護アップデートセミナー

看護職の疲れと社会

あなたの疲れは、あなただけの問題じゃない！
皆で考えよう看護職の疲れ

日時

2025年10月25日(土)
14:00 - 15:30

会場

武庫川女子大学看護科学館
(阪神鳴尾・武庫川女子大前駅徒歩3分)

参加費無料

お申し込みフォームはこちら▶
(10月24日まで。当日参加も歓迎)



看護のお仕事で、「意欲がわかない」「しんどい」「イライラする」などなど……、お疲れのサインはでていませんか？

「疲れる」のは、私のタイムマネジメント能力が低いから？それとも、職場の人間関係が悪いから？、などなど、自分自身や職場の人々を責めていないでしょうか？

いいえ、決して、「疲れ」は、個人だけの問題ではありません。システム思考でメンタルヘルスを考えてみると、あなたの「疲れ」と日本社会との関係がみえてきます。ちょっと視点を変えて、「疲れ」対策を考えてみませんか。



講師

寶田 穂

(武庫川女子大学大学院看護学研究科 精神看護学教授)

第1部

14:00 - 15:00
講演会

第2部

15:00 - 15:30
大学院なんでも相談会 (自由参加)



お問い合わせフォームはこちら▶



主催：武庫川女子大学大学院看護学研究科
大学院看護学研究科webサイトはこちら▶





修士課程 看護学研究コース

なぜ大学院に進学しようと思ったのですか？

勤務先では、近隣の大学の教員から研究指導を受けていますが、時間に限りがあり、各病棟で試行錯誤を重ねているのが現状です。自らが大学院に進学し知識を深められれば、病棟の研究を支え、看護ケアの質向上に貢献できると考えました。

長年の訪問看護師の経験から、在宅終末期療養者が人生最期を穏やかに迎えるために充実した看護を提供したいと考えました。そのために研究方法を学び、自身のスキルアップのために大学院に進学しようと思いました。

誰もが不安や迷いを抱えながら、
それでも一歩を踏み出しました

現場での実践と研究、
ふたつの視点があなたの看護を変える

どのように仕事と大学院を両立させましたか？

土曜日に開講される授業が多く、仕事との両立がしやすい環境でした。休日はレポートや研究に時間を割くこともありましたが、働きながらだからこそ、実践の課題を踏まえた学習、研究ができました。

修了生・大学院生からのメッセージ

大学院での学びと研究は決して楽ではありませんが、仕事だけでは得られない仲間や経験があります。科学的・論理的思考は、看護実践にも大いに役立ちます。ぜひ、勇気を出して一歩を踏み出してみてください。

先生方や同期との出会いで視野が広がり、多くのことを学んでいます。本当に進学して良かったと思っている毎日ですので、進学を考えておられる方にはお勧めします。

大学院で学んでみませんか ~大学院生・修了生の声~

Voice

修士課程 看護学研究保健師コース

なぜ保健師になりたいと思ったのですか？

看護師として働く中で、生活習慣や社会背景が身体機能や回復力に影響することを実感しました。重症化後の治療の限界も感じ、健康増進や疾病予防に関わる保健師を志すようになりました。

どのような授業や実習が印象に残っていますか？

1年次の広域実践看護学実習です。乳幼児や高齢者の家庭を継続して訪問し、生活状況や身体状況をアセスメントし、信頼関係の構築に努めました。地域の住民さんと関わる中で、保健師として必要な実践力を身につけることができました。

実習後のカンファレンスで指導者さんや先生、院生と活発に意見交換し、他の院生の事例からも多くを学びました。

保健師を目指す学習と研究、
ふたつの経験があなたを育てる

武庫川女子大学大学院を選んだ理由は？

高齢者と母子の継続家庭訪問や都市部と山間部での実習など、地域の住民さんと関わりながら学ぶ機会が多くあり、保健師としての実践能力をつけることができると考えたからです。

修了生・大学院生からのメッセージ

保健師になるためのプログラムが段階的に構成されていることや、少人数制のため、先生からのサポートが手厚く、安心して学ぶことができると感じています。

授業や実習を通して、住民さんにとって身近な存在として健康的な生活を支援する保健師はとても魅力的であり、やり甲斐のある仕事だと実感しました。少しでも興味があれば、ぜひ保健師について調べて、進学を検討してみてください！

